

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 美術館管理運営費（環境整備分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県美術館 総務部 管理調整係 電話番号：058-271-1313

E-mail : c21801@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 66,182千円 (前年度予算額： 41,053千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	41,053	0	0	0	0	0	0	19,800 21,253
要求額	66,182	0	0	0	0	0	0	55,400 10,782
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 現在展示室2で使用されている蛍光灯は平成29年（2015年）に生産を終了している。また、現在使用しているハロゲン電球では、照射熱による被照射物への熱の影響等があることから、早急にLED化を行う必要がある。
- 本館では、令和9年度に外部建具の更新工事を実施する予定であることから、令和8年度にその設計業務を行う。
- 館内のwi-fi機器のメーカーサポート切れとなる令和8年9月以降は故障時の修理が不可能となることから、wi-fi機器の更新を行う。
- 令和8年度には耐用年数に達する見込みであることから、非常用自家発電設備（蓄電池）の取替工事を行う。
- アトリエ2階サポーター室の空調機の部品はすでに製造終了しており、修理は困難な状況であることから、更新工事を行う。
- 数年前から、多目的ホールにおいて結露が発生していることから、トップライトの交換工事を行う。

(2) 事業内容

展示室2内で使用している美術館用蛍光灯について後継機種(LED)への取替を実施する。

- 蛍光灯の撤去及び蛍光灯型LEDの設置 21,560千円

令和9年度に予定されている本館外部建具の更新工事について設計業務を実施する。

- 外部金属建具・外部金属改修工事の設計業務 14,199千円

美術館館内Wi-Fi機器の更新を実施する。

- 館内Wi-Fi機器の更新業務 5,335千円

非常用自家発電設備（蓄電池）の設置及び蓄電池の処分を実施する。

- 蓄電池の取替及び処分業務 1,349千円
アトリエ2階センター室の空調機について更新を実施する。
- 既設機器の撤去及び新しい空調機の設置 1,739千円

多目的ホールにおいてたびたび結露が発生していることからトップライト結露対策を実施する。

- トップライト（天窓）交換工事 22,000千円

(3) 県負担・補助率の考え方

美術館の作品保管・展示機能を維持するため、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	14,199	外部金属建具・外部金属改修工事設計
工事請負費	51,983	LED照明設備設置業務 館内Wi-Fi機器更新 非常用自家発電設備（蓄電池）の取替工事 アトリエ2階センター室エアコン更新工事 多目的ホールトップライト結露対策工事
合計	66,182	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「岐阜県県有建物長寿命化計画（個別施設計画）」を策定し、展示室2のLED化を実施。
- 「岐阜県温室効果ガス排出抑制率先実行計画」において、全県有施設の照明を令和12年度までにLED照明に更新することとされている。
- 「長期構想」の「V-5ふるさとへの誇りと愛情を育てる」
- 「第3次教育ビジョン」の「基本方針1 ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成」

(2) 後年度の財政負担

外部建具については、令和9年度に更新工事が必要となる。

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県美術館は、芸術的価値の高い美術品並びに美術資料を収集保存し、調査研究を進め、その成果を展示公開している。年間約20万人の利用者に落ち着いて美術を楽しむことができる環境を整備する。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

建具や照明設備、空調設備を整備することにより、県民共有の財産である収蔵品の適切な保全管理を行い、安全安心な施設環境づくりを目指す。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

美術館を維持管理するための施設環境を整備する経費であり、その性質上、指標を設定することが困難なため。

(これまでの取組内容と成果)

令 和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。 なし
	指標① 目標 : ____ 実績 : ____ 達成率 : ____ %
令 和 5 年 度	収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、展示室1のフィルターの交換を行い、展示に適切な空気環境を維持することが出来た。
	指標① 目標 : ____ 実績 : ____ 達成率 : ____ %
令 和 6 年 度	展示室1、展示室2のフィルターの交換を行い、展示に適切な空気環境を維持することが出来た。
	指標① 目標 : ____ 実績 : ____ 達成率 : ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	県民共有の財産である収蔵品の適切な保全管理に必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	(評価) 2
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	(評価) 1

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

収蔵品の適切な保全管理のため、計画的に改修を実施し、安全安心な環境を整備していく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
　県民共有の財産である収蔵品の適切な保全管理に必要であることから、計画的に改修を実施し、安全安心な施設環境づくりを目指す。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	